

動物愛護啓発用パネル

K 1（環境省作成：法律概要）

動物愛護管理法って？

愛護

動物の虐待・遺棄の防止
動物の適切な取扱い
動物の健康及び安全の保持
動物愛護を広めよう!!

管理

動物による危害の防止
生活環境保全上の支障の防止
人への迷惑の防止

人の生命、身体、財産、生活環境を守ろう!!

動物の愛護及び管理に関する法律

人と動物の共生する社会の実現を図ることを目的としています。

① 終生飼養の徹底

- 飼主には、終生飼養の責任があります。最後まで愛情と責任をもって飼います。
- どうしても飼えなくなったら…
飼主自身が責任をもって譲渡先を見つけましょう。
→ 新たな飼主を探す
→ 動物愛護団体に相談する など
- 自治体は終生飼養に反する引取りを拒否できるようになりました。

② 動物の購入にあたって

ペットショップ等の動物取扱業者から購入する際は、**動物譲渡・対応説明**が必要です。

▶ 5日齢未満(犬猫)⇒生後5日を経過しない犬猫の販売の規制(4月8日5月31日までは4日、それ以降に定めるまでの間は4日)

どうして自給飼養が必要なの？
生後5日を経過しない犬猫は、まだ母乳を飲んでいないため、適切な飼育方法がわからず、適切な飼育方法がわからないままに飼育されることがあります。適切な飼育方法と適切な飼育方法を知ることが大切です!

環境省
Ministry of the Environment

K 2（環境省作成：飼い主責任）

飼い主責任を果たそう!

飼い主は毎日の世話を通して、ペットの命は飼い主のあなたにゆだねられます。飼い主には**ペットの命を預かる責任**と、**社会に対する責任**の両方が必要になります。

ペットの命を預かる責任 = ペットの健康と安全に気を配り、ペットの種類にあった快適な環境を整える責任

- **世話と観察**
飼い主は毎日の世話を通して、ペットの体の状態や行動、食事の量、糞や尿の状態などをよく観察しましょう。毎日しっかりと観察すること、いちいち異変を見つければいいでしょう。
- **住環境**
ペットの種類によって、適した温度や湿度なスペースや設備が違います。種類にあった住環境を整えましょう。ペットを飼う場所にはこまめに掃除をして清潔を保ち、壊れていたり、危険な箇所がないかなどの点検も定期的に行いましょう。
- **食べ物**
年齢や健康状態に合った栄養バランスのとれた食べ物を与え、いつでも新鮮な水を飲めるようにしましょう。

● **繁殖制限措置**
ペットの繁殖をコントロールすることは、飼い主の責任です。ペットの性的なストレスを軽減し、数が多いすぎないように、繁殖をコントロールしましょう。犬や猫の場合、産まない繁殖を防ぐ適切な方法は不妊手術です。繁殖を手控えていないのなら、繁殖制限措置を行いましょう。

社会に対する責任 = ペットが周りの人に迷惑をかけないように、社会のルールやマナーを守る責任

社会に対する責任を果たしているかどうかは、飼い主ではなく、周囲や近所の方々が判断することです。
ペットが思いや相手方など多いことを十分に理解し、ルールとマナーを守り、地域社会に迷惑をかけないようにしましょう。

環境省
Ministry of the Environment

K 3（環境省作成：飼い主の7か条）

みんなで守ろう!! 飼い主の7か条

病気の知識と予防

動物の病気や感染症等について正しい知識を持ち、その予防に必要な注意を払いましょう。

終生飼養

動物の習性や個性などを正しく理解し、動物がその命を終えるまで飼育しましょう。

迷惑防止

鳴き声や毛、羽毛などの飛散、臭い、排泄物など、日頃から周囲の方への配慮を心がけましょう。

繁殖制限

飼っている動物が産みすぎで管理ができなくなることを防ぐために、不妊・去勢手術をしましょう。

災害対策

飼育品の準備、避難訓練、日常生活におけるしつけ等をしており、災害時には同行避難しましょう。

逃走防止

動物が逃げ出したり誘子にならないように、必要な対策をとりましょう。

身元表示(所有者明示)

飼い主がわかるよう、首輪や迷子札、首輪、マイクロチップ等をつけましょう。

環境省
Ministry of the Environment

K 4（環境省作成：動物5つの自由）

動物の「5つの自由」について知しましょう

5つの自由とは、動物が生きていくために必要な要求が満たされて、動物が心地よく、安心して安全に暮らしているかを確かめるための指標です。飼い主は、動物であるペットに、この5つの自由を与え、できる限り快適に生活ができるようにする責任があります。

飢え・渇きからの自由

動物にとって食料はとても大切です。動物の健康や飼育状態にあった適切なフードを与え、水は新鮮なものがいつでも飲めるようにしましょう。

痛み・負傷・病気からの自由

けがや病気の場合には適切な治療を受けさせましょう。日頃から病気の予防を心掛け、健康状態をチェックしましょう。

不快感からの自由

清潔で安全で快適な飼育場所を用意して、動物が快適に過ごせるようにしましょう。

本来の行動がとれる自由

それぞれの動物が本能や個性に合った動物本来の行動がとれるように工夫しましょう。

恐怖・抑圧からの自由

動物が恐怖や抑圧を受けないように、また、精神的な苦痛や不安の兆候を示さないように的確な対応をとりましょう。

環境省
Ministry of the Environment

K 5（環境省作成：猫の室内飼養）

猫は室内で飼おう！

室内飼育のメリット

- ① 交通事故にあう危険がない
- ② 感染症にかかる危険が少ない
- ③ ご近所トラブルが少なくなる
- ④ 虐待などの被害にあうことがない

室内飼育のデメリット

猫が退屈しやすい

▶ 環境を整え飼い主がコミュニケーションをとることで、猫は室内飼育でも十分に幸せに暮らせます！！

猫に快適な室内環境

外を眺める場所

窓の外を見るという刺激が「退屈」を感じにくく、与えられ、

くつろげる場所

柔らかい布の上、暖かな場所を好みます。

隠れ場所

猫は本来臆病な動物です。驚いたときに猫が逃げ込めるスペースを用意しましょう。

トイレ

猫は非常にきれい好きで、トイレにこだわりがあります。

室内の安全対策

- 脱走しないように、窓や扉の戸締りを徹底しましょう。
- 口にすると危険なものを片づけましょう。（電気コード、観葉植物など）

飼い主とのコミュニケーション

室内飼育されている猫の場合は他の社会や動物との接点がないので、その分飼い主が毎日コミュニケーションを取り、かまってやる必要があります。猫しかけたり、なでたり、おもちゃを使って遊んだりする時間を作りましょう。

K 6（餌をやる方へ）



「かわいそう」そう言っ、餌だけやる人がいます。

面倒をみたいなら 家の中で面倒みましょう
 家が無理なら トイレの始末や不妊去勢手術は必ずしましょう
 あなたのその餌やりが「かわいそう」な子猫を増やしています
 ふん尿などの被害で困っている近所の人があります

あなたは無期まで面倒をみますか
 治療や手術など病院に連れていけますか
 飼い主としてすべての責任をとれますか
 厳しいかもしれませんが、それも猫に対しての愛情です

不幸な命を生み出さないようにすることが私たちに求められています

K 7（無責任に餌をあげるのはやめましょう）

無責任に餌をあげるのはやめましょう

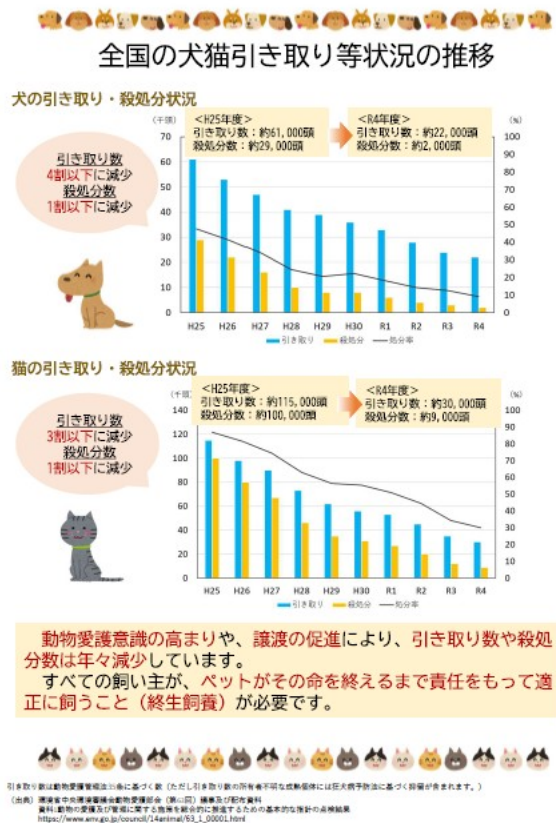
これはダメ!!

正しくはこちら

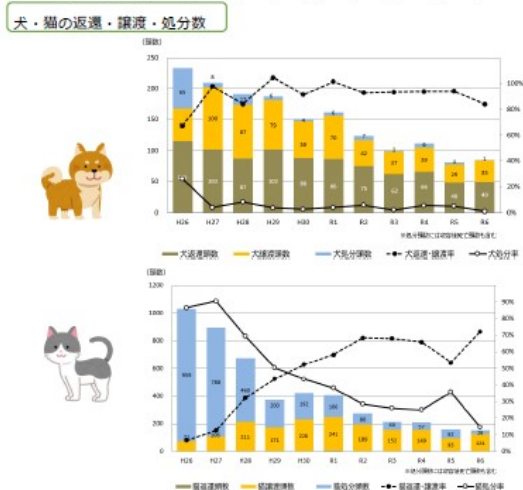
自治体に引き取られる猫のうち約7割が子猫です。不妊去勢手術、排泄物や糞尿などの清掃を行わず、かわいそうだからと無責任に餌だけを与える行為は、本当に猫にとって幸せなことでしょうか？

環境省
Ministry of the Environment

K 8（全国の引き取り等状況）



K 1 0 (犬の鑑札、注射済票デザイン一覧)



K 1 2 (家族に迎えるのなら)



犬や猫を新たに家族に迎えるとき、保健所や保護施設から迎えることをご相談ください

鳥取県
鳥取県動物愛護センター

備えよう! ペットの災害対策

災害は突然起こります。いざというとき、あなたの家族とペットが安全に避難でき、一緒に暮らせるよう、心構えと日頃からのしつけ、避難生活への備えが大切です。

家族みんなの心構えと備え

家族で話し合い

- ・家族間の連絡方法、集合場所
- ・非常持ち出し袋等備用品の保管場所と中身の確認
- ・飼っているペットを、どう守り、避難させるか
- ・飼い主が留守中の災害の時の対処方法などを家族で話し合い、いざというときに備えておきましょう。

地域情報の収集と避難訓練

- ・お住まいの地域の防災計画の確認しましょう。
- ・ペットを避難所に連れていくことはできますか?
- ・地域の避難訓練に参加しましょう。

ペットのための災害時の備蓄品

- ▶ 緊急避難に備え、必要な物資の調製をしましょう。
- ▶ 避難所では人に対する準備はされていますが、飼っているペットに対する備えは、基本的に飼い主の責任になります。
- ▶ 持ち出し品には優先順位をつけて、すぐに持ち出せるように、まとめておきましょう。



詳しくは、環境省HP「災害時のペットと家族の備え」をご覧ください。
↓パンフレット「備えよう! いざというときにいざいから」

同行避難とは?
災害発生時に、飼い主が避難しているペットを同行し、避難所で安全に避難することです。

優先順位① ～命や健康にかかわるもの～

- ☐ 飲料水(5日以上)
- ☐ フード(5日以上)
- ☐ 処方食・療法食
- ☐ 処方薬・医薬品
- ☐ 予備の首輪・ハーネス・リード(伸縮しないもの)
- ☐ 食器
- ☐ ガムテープ(ケージの補修など多用途に使用可能)

優先順位② ～飼い主や動物の情報～

- ☐ 飼い主の連絡先
- ☐ ペットの写真、ペットと飼い主が一緒に写っている写真
- ☐ 狂犬病予防注射票・各種ワクチン接種の状況がわかるもの
- ☐ 既往症・健康状態
- ☐ かかりつけの動物病院

優先順位③ ～ペット用品～

- ☐ ペットシート、猫の砂(使い慣れた素材のもの)
- ☐ 排泄物の処理用具
- ☐ トイレトレー
- ☐ タオル・ブラシ
- ☐ 洗濯ネット(袋)
- ☐ 使い慣れたおもちゃ など

ペットへの日頃からの備え

所有明示

災害はいつ起こるか分かりません。常に首輪などをつけておきましょう。

- マイクロチップ
- 鑑札と
- 狂犬病予防注射票
- 連絡先を書いた迷子札
- 首輪

※犬の鑑札と狂犬病予防注射票の両方を首輪につけておくことで、飼い主が一目で確認できるようになります。

健康管理

避難生活ではストレスがかかり、体調を崩しやすくなります。

犬

- ・体を清潔に保つ(ブラッシングなど)
- ・狂犬病予防注射と各種ワクチンの接種
- ・犬フィリリア症の予防・駆除
- ・ノミやダニなどの寄生虫の予防・駆除

猫

- ・体を清潔に保つ(ブラッシングなど)
- ・各種ワクチンの接種
- ・寄生虫の予防・駆除

しつけ

周りの人に迷惑をかけないように、しつけを普段からしておきましょう。

犬

- ・基本的なしつけ「待て」「伏せ」などができる
- ・ケージの中に入ることを嫌がらない
- ・不必要に吠えない
- ・人を怖がったり攻撃的にならない
- ・決められた場所です、排泄ができる

猫

- ・ケージやキャリー(バック)に入る事を嫌がらない
- ・人やほかの動物を怖がらない
- ・猫トイレでの排泄

しつけを行うことは、周りの人のためであると同時に、犬や猫のストレスを少なくすることにつながります。

日頃からケージに入る練習をしましょう!

避難する時も、避難所でも必ず役立ちます!

ケージをペットにとって安心できる場所にしておくことが大切です。

- ▶ 普段から休めるスペースとして開放しておく
- ▶ 中でリラックスしているのを見つけたらほめる
- ▶ 中でおやつやフードを与えるなど、良い印象を持たせる
- ▶ 閉じ込められる場所、病院に行くときに入る場所など、悪い印象と結びつかないようにする
- ▶ 使い材質の方が安全性が高い
- ▶ ペットが寝ることで、広さ、狭さ、狭さ、狭さを適応